Rotary
Rotary International District 2800
2017～2018
TAKAHATA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

ロータリー：
変化をもたらす

会長　山　村　義　美　　幹事　庄　司　　薫　　例会　毎週木曜日　12：30～13：30　旅館 ヱビスヤ
http://takahata-rc.net　事務局　山形県高畠町大字高畠９１１-２/２F　tel 0238-52-5440・fax 0238-52-5444

今日の例会　［2421 th］　2018. 1.25

ゲストスピーチ　（一社）高畠青年会議所

理事長　**西　方　茂　太　氏**

前回の例会　［2420 th］　2018. 1.18

ゲストスピーチ　まほろば かたりべの会

雲　井　倫　子　氏

- 点鐘12時30分　山 村 義 美 会長
- ロータリーソング　我 等 の 生 業
- ソングリーダー　四 つ の テ ス ト　木 村 健 彦 君
- S　A　A　若 林 智 次 君

会長あいさつ

山村　義美　会長

みなさまこんにちは、先週は親睦委員会の皆様にお世話になり福美屋さんでの新年会ありがとうございました。

本日のゲストスピーカーをご紹介致します。まほろばかたりべの会 雲井 倫子さんです。

どうぞよろしくお願い致します。本日は青年会議所の新春交歓会に参加して参ります。

若い人達にロータリークラブをアピールしてきたいと思います。

新年会から入会された高橋雅明君には、本日も出席して頂きましたよろしくお願い致します。

《会長の時間》

・ガバナーノミニー推薦依頼がガバナー事務局より届いておりますが、歴代会長会議を開き討議した結果、ガバナーノミニーの推薦はご辞退申し上げることといたしました。

《幹事報告》

庄司　薫　幹事

・ロータリー囲碁同好会大会が東京で開催されます。参加ご希望の方は事務局へお知らせ下さい。

スマイルBOX

会員誕生

近　清剛 君・長谷川春海 君・井田　裕子 君
土屋　衛君・加藤由香里 君

・メールの不具合をご指摘され、早速青木会員にお願いして直して頂きました。お二人に感謝。

山村　義美 君

・事なきを得てよかったです。メール等不具合があれば皆様もご遠慮なく申し付け下さい。

青木　道春 君

・心待ちにしていた会長からのメールが、ドド～と届きました。

桑島　周士 君

《出席報告》

会員数 47名	出席者数 23名	出席率	48.94 %
前回修正	出席者数 47名	出席率	100.0 %

次回の例会　［2422 th］　2018. 2. 1

移動例会

ひっぱりうどん例会

高砂屋珈琲店

ゲストスピーチ

まほろば かたりべの会
雲　井　倫　子 氏

今日はお招きいただきありがとうございます。私は町に伝わる民話のほかに山形県以外の民話も語り地域の子どもたちに夢を与えようと思っています。

今日は町に伝わる民話を語りたいと思います。

①猫の宮・・人間と動物の愛情について語ります。

昔、むかしあったけど。

昔、高畠の高安って言う所さな、庄屋様の夫婦がいやったけど。二人には子供がいなかったもんだがら、お宮参りをしては「どうが子宝を授げておぐやい」って、お願いしったば良い男の子に恵まれたげんど、喜んだのもつかの間で、程なく流行病で亡くなってしまったなだど。

しばらくは悲しみに暮れていた二人に、神様のお告げがあって「子猫が一匹迷い込むであろう。大事にいたせ」て言わっちゃなだど。

その次の日、庭の隅っこでニャーニャーと、か細い鳴き声が聞こえたもんだから、二人は飛んで行ってその子猫を拾い上げて「神様の申し子だ」と言って、大事に大事に育てだんだど。

その猫また、なつこくってなぁ。庄屋様の夫婦から一時も離れねで、どごさでもついて行くなだけど。ほだげんとある時から、奥さまが便所さ行くどこ見っけで飛んできてすぐ傍で、用足し終わるまで付いているようになったもんだから、きび悪くなった奥様は青い顔して、旦那様さ言いつけたごんだど。旦那様も心配して「よし。俺が試してみんべ」どて、奥様の赤い着物着て便所に入ったど。
やっぱりついて来て、離れねごんだど。

それも、ずうーっと続くもんだがら「こげに大事にめんごがって来たのに、この猫狂ってしまったなだべが」と、思いこんでしまった旦那様が、隠し持った小刀で、猫の首をざっくりと切ってしまったんだど。とたんにその首は、真っ直ぐ便所の梁の上さ飛んで行ったど思うど、暫ぐドダンバダン、ドダンバダンて音がして旦那様の目の前さドサーと落ちてきたどご見たば、大っきな蛇の頭さ食らいついた猫の頭だったど。

蛇に狙われた奥さまを見張ってくれた、猫の心持を知った庄屋様は「ああー俺は悪れごとした。もごさいごどした」て猫の亡きがらに謝ったど。

その昔、犬の宮に祀られた三毛犬と、四毛犬にかみ殺された〝むじな〟の化け物がいた時に、その生き血を吸った蛇が、化け物の〝怨念〟までも受け継いで、庄屋様の奥様を狙っていたんだど。

庄屋様は二人でねんごろに弔って、犬の宮近くに【猫の宮】を建てて猫を祀ったんだど。　とうびんと。

②弥三郎婆・・現在も一本柳に「おっかな橋」として和田川にありますが…そのいわれを語ります。

弥三郎婆は「弥三郎が戻るまではお家再興のお金を集めなければならぬ。何とかしなければ・・・」
それで、白い狼を手なづけて旅人を襲っては金品を奪いついには和田川に架かる橋のたもとに巣くったんだど。人々はその橋を【おっかな橋】と言ってみんなおっかながったんだど。

それとは知らない弥三郎は五年の修業を終えて、母の所を目指して急ぎ、おっかな橋のたもとまで来たんだど。

すると、突然目の前に白い狼が飛び出し「持っている物を置いて行くか、それとも命を置くか？」と言うもんで、弥三郎はさすが腕を磨いた武将…たちまち斬って捨てると、鋭い呼子に白い狼が何頭も現れたんだど。よく見ると狼の後ろには、白髪の老婆が立って呼子を吹いている「あの者が狼を使っているのだな」と、狼を切り捨て老婆の右腕もバッサリと切り落してしまったんだど。その腕を拾い上げて老婆の後を追いかけようとしたが、すでに老婆の姿はなかったんだど。弥三郎は鬼婆の腕を懐に入れると母が待っている我が家に急いだんだど。

村に入ると、家はぼろぼろに腐って無くなり、どこにも人の居る気配は無く、疫病の流行った恐ろしさが目に余る有様だったんだど。
「母は大丈夫だろうか」弥三郎は村を通り抜けようやく家に戻ってみたが、破れ障子にあっちこっち屋根も落ち、庭は草ぼうぼうで人の住んで居る気配など無い有様、弥三郎は戸の口で大声で母を呼んだんだど。

「母上、弥三郎ただいま帰りました」すると、奥の方からかすかに「おう」と言う声がしたので、わらじも脱がずに奥の間に走って行ったんだど。

すると、白髪の母が床の中で「ああよく帰った。蓄えた軍資金は床の下に隠してある」と言いながら、流行り病で弥三郎の妻も子供も死んだことを涙ながらにしゃべったんだど。

弥三郎も修行の苦しさを話し、先程部落の入り口で出会った狼と老婆の話をしたんだど。
そして、切り落とした右腕をみやげに持って来たって言ったんだど。

「そうかそうか、その腕をぜひ、見たいものだ」と言うので、弥三郎は懐から腕を取りだしたら、母はぐいと身を起こして「この腕こそわしの腕だ。軍資金を蓄えようと思って、橋のたもとにおったのはこのわしじゃ」と、言ったかと思うと腕を切り口にぴったりくっつけて、雷雲を呼んで天井を突き抜け、風のように、越後の弥彦山へ飛んで行ってしまったんだど。

弥三郎は母を哀れんで、屋敷の隅にお堂を作って【妙多羅天】として祀ったのが今の風邪の神として信仰を集めているんだど。

弥彦山へ移った弥三郎婆は、今までの事を恥じてそれからは、貧しくて嫁も貰えない男に嫁を探してくれたり、我慢できずに逃げ出した嫁をかくまってくれたりして、縁結びの神様になったとも言うし、あっちこっちに出掛けるときは黒雲に乗り風を起こしていくので、風の神とも言われ病気の風邪を治す神様になったとも言われ高畠町屋代に風邪を治してくれる神様が今も祀られているそうだ。

とうびんと。

高畠町の民話は沢山ありますが、その中でも今も語り継がれている三つの民話をどう感じられましたか?